

緊急告知防災ラジオ 難聴地域での試験放送について

今年度、FMラジオの難聴地域である宗谷岬及び東浦地区に中継局を整備するため、現在工事を行っており、「FMわっぴ〜」の試験放送開始を10月下旬に予定しています。

これにより、宗谷岬及び東浦地区において、緊急告知防災ラジオからの災害情報や通常のFMわっぴ〜の放送を受信することが可能になります。なお、あくまでも試験放送のため、工事の状況により突然放送が聞こえづらくなったり、全く聞こえなくなる場合もありますのであらかじめご了承ください。

本放送開始の日程などは、中継局整備の工事完了後、あらためてお知らせします。

貸与対象事業者

市内に所在する事業者
(法人・個人)

9月から貸与範囲を事業者等へ拡大し、勤務時間中も災害情報等を確認できる環境を整備するため、市内に所在する事業者の皆さんに無償で貸与しています。

申し込み・問い合わせ

市総務防災課防災グループ
23・6380

「緊急告知防災ラジオ」の 事業者への貸与について

本市では市民の皆さんに緊急情報を伝達する手段の一つとして、「緊急告知防災ラジオ」を住民登録のある世帯主の方に無償で貸与しています。

ただし、住居と一体となった事業所は除きます。

貸与台数/原則1台

※特別な事情がある場合については、事情に応じて貸与します

申込方法及び貸与方法

申込書に必要事項を記入し(代表者印の押印が必要です)市役所3階総務防災課に提出ください。

申込書は総務防災課窓口及び市ホームページでダウンロードできます。

今年の冬も、無理のない範囲で みんなで節電!

9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震の影響による停電は、北海道のほぼ全域で復旧しました。震災直後は設定された節電の数値目標は、現在、設定されていませんが、発電所のトラブルなど万が一の事態が生じた場合、電力の供給量が不足してしまう可能性があります。

これからの「冬」にかけて、北海道内で消費される電力量は増加することが予想されます。限りある資源を大切にするためにも、無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

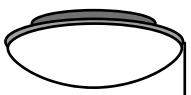
問い合わせ

市環境エネルギー課環境政策グループ
23・6386



環境都市わかっかない

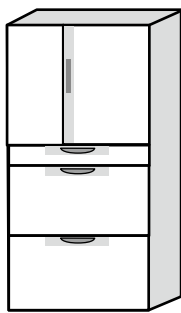
家庭でできる節電メニュー



不要な照明はできるだけ消しましょう。
【削減量 6%】



画面の輝度を下げた必要な時以外は消しましょう。
【削減量 3%】

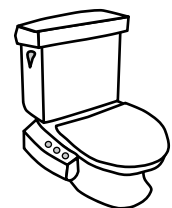
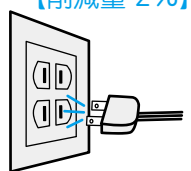


設定温度を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間を減らし、食品をできるだけ詰め込みすぎないようにしましょう。
【削減量 2%】

早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。
【削減量 3%】



長時間使用しない器具のコンセントは抜きましょう。
【削減量 2%】



温水のオフ機能、温水タイマーの節電機能を利用しましょう。
【削減量 1%】

「ごみ」を減らす選択を!

No.1

今月号から、ごみを減らすための様々な選択をご紹介します

優先度 高

1-はじめに

Reduce (発生抑制)

多様な商品の中から、長く使用できる商品や、詰め替え商品などの「容器」や「包装」の少ない商品を選ぶことでごみの発生を抑えましょう。



キーワードは スリーアール 3R

【ごみに関する3つの取り組み】

リデュース [Reduce] リユース [Reuse] リサイクル [Recycle] をまとめて「3R」といいます。ごみを減らすためには

特に **リデュース [Reduce]** を心がけることが大切です!

2-つぎに

Reuse (再使用)

生活の中で不要となったものは、捨てるのではなく、フリーマーケットや本紙掲載の「生活用品ダイヤル市」を利用して「使ってくれる人」を探しましょう。



低

3-さいごに

Recycle (再生利用)

ごみは必ず分別して捨てましょう。正しく分別された資源ごみは、新たな製品の材料となり、自然保護に役立ちます。



問い合わせ/市くらし環境課衛生グループ
23-6437

大切な自然を守るため「3R」の取り組みにご協力をお願いします!